

当院における臨床パス運用の 新体制 ～パス事務局の設立～

済生会松山病院
パス事務局専任看護師 江田義樹

済生会松山病院臨床パスの歴史

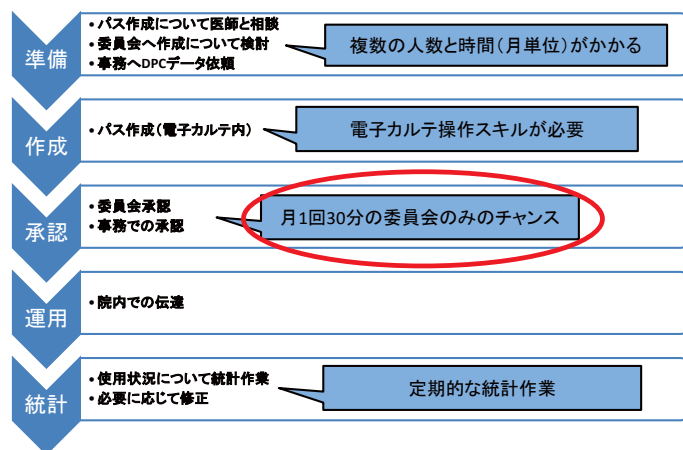
1999年	・整形外科 人工股関節全置換術(THR)臨床パスを使用開始 ・糖尿病療養入院、白内障手術パス(使用までに2年)
2004年7月27日	・院内臨床パス委員会発足(第4月曜日17時)
2005年10月	・作成パス31種類
2006年1月	・ISO9001:2000認証
2006年10月25日	・第1回臨床パス大会 開催
2008年4月1日	・DPC対象病院承認
2010年8月	・電子カルテ導入、電子パス使用開始
2018年11月	・BOM導入開始

当院の臨床パス委員会構成メンバー

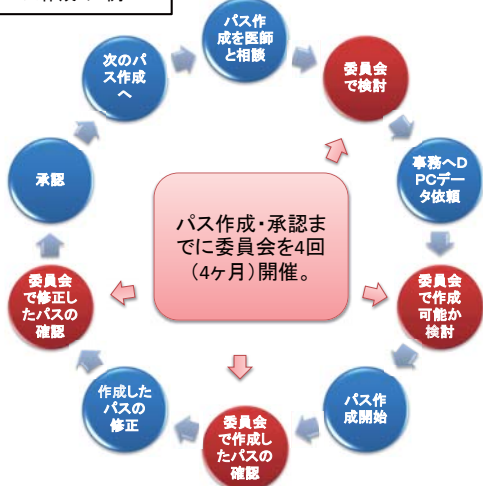
- ・ 医師 13名(委員長1名・副委員長1名含む)
- ・ 看護師 14名
- ・ 薬剤師 2名
- ・ 理学療法士 2名
- ・ 栄養士 2名
- ・ 事務 2名

臨床パス委員会
毎月第4火曜日17:00～17:30

従来のパス作成・運用方法



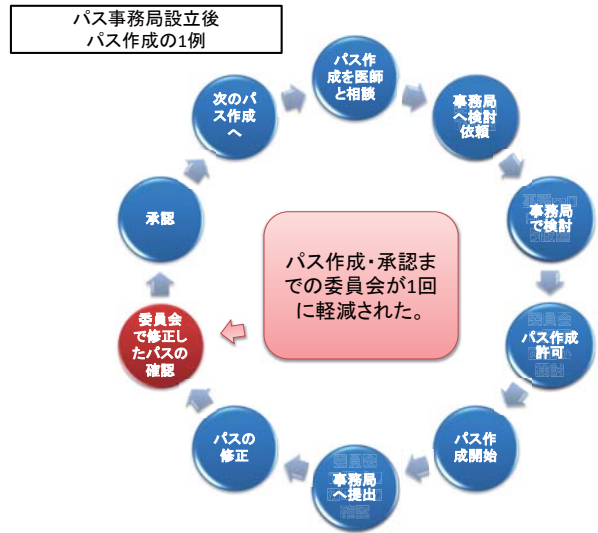
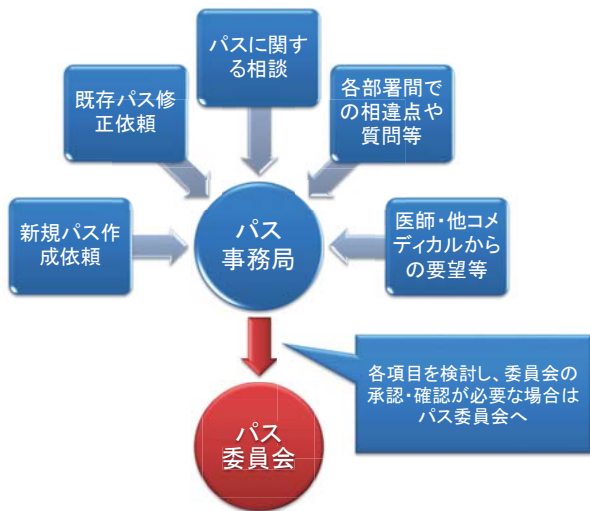
以前のパス作成の1例



臨床パスと委員会へのイメージ

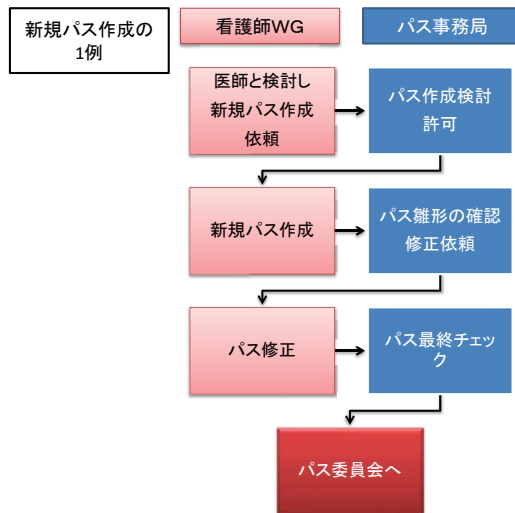
- ・そもそもパスを誰に聞いたら良いか分からない。
↳ パス委員が誰か認知されていない
- ・パスの使い方が分からない。
↳ パス委員が分からないので聞けない
- ・パス委員は時間外でパス作成や残業しているイメージがある。
↳ 実際に時間外で作成しているスタッフが多かった
- ・新規パス作成を依頼しても、作成までに時間が掛かるので依頼をあきらめている。
↳ 最短でも4ヶ月程度掛かる(前述のパス作成の1例参照)
- ・既存パスの修正を依頼しても、修正に時間が掛かるので、結局使わない。等々...





看護師WGの開催

- 専任看護師を中心として病棟・外来のクリニカルパス委員の看護師で構成。
- パス事務局と検討し、新規クリニカルパス作成・既存パス修正の実施。
- パス作成・修正の頻度によって、月に1~4回のフリー業務を勤務調整を行い実施(時間外でのパス作成・修正作業を無くす)。
- 定例報告会をクリニカルパス委員会開催前に20分程度開催し、現在の問題点やフリー業務時間の検討を行う。



パス事務局への相談内容

医師

- 新規パス作成について依頼
- パス使用方法の確認
- パス修正依頼

看護師

- 新規パス作成について依頼
- パス使用方法の確認
- パス修正依頼

薬剤師

- パス使用方法の確認
- パス修正依頼
- パス修正方法の確認
- 服薬指導のパス導入の確認

栄養士

- パス使用方法の確認
- 栄養指導のパス導入の確認

事務

- パス作成時における、コスト面での相談
- 事務では確認出来ない処置の確認

パス事務局設立後のパス修正・作成

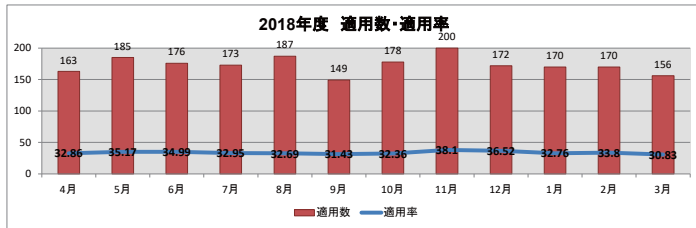
修正した既存パス		新規作成パス	
泌尿器科	TVM 経尿道的前立腺切除術 内シヤント造設 化学療法(GC療法)2回目以降	循環器	肺塞栓症/深部静脈血栓 初日ヘパリンあり 肺塞栓症/深部静脈血栓 初日ヘパリンなし
内科	糖尿病教育入院7日 糖尿病教育入院13日	脳外科	脳梗塞(エダロンなし)ベッド上安静 脳梗塞(エダロンなし)離床可 脳梗塞(エダロンあり)ベッド上安静 脳梗塞(エダロンあり)離床可
眼科	右眼白内障ハス 左眼白内障ハス 圧迫骨折 コルセット作成 右機骨遠位端骨折手術 左機骨遠位端骨折手術		
整形外科	右大腿骨近位部骨折 リクシアナあり 左大腿骨近位部骨折 リクシアナあり 右大腿骨近位部骨折 リクシアナなし 左大腿骨近位部骨折 リクシアナなし 右人工股関節置換術 リクシアナあり 左人工股関節置換術 リクシアナあり 右人工股関節置換術 リクシアナなし 左人工股関節置換術 リクシアナなし		

新規作成パス(事務局設立前)	
2016年	7
2017年	8
2018年	0

2018年はBOM導入の検討があった為、新規作成は出来なかった。

パス適用率 当院の目標 40%

2018年度 クリニカルパス適用率 **35.19%**



2019年	適用率	適用数
4月	35.88%	163
5月	38.34%	194
6月	34.66%	194
7月	32.16%	155

結論

- 事務局の設立によりパス作成・修正までの時間短縮が出来た(パス事務局設立後 パス作成の1例参照)。
- 看護師パスWGの開催により、パス委員の作業・活動時間が確保され時間外業務が削減された。
- パス事務局が認知され、パスに関する窓口ができ、医師・他部署からの連絡があった。

今後の課題

- パス適用率は2019年4月～7月も約35%程度で推移しており、適用率40%目標にした新規パスの作成・既存パスの修正が必要である。

今後もより良いパスが出来るよう、事務局業務を行っていきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました